

# にいがた子どものメンタルケア・ネットワーク 「子どものメンタルケア事例検討会（第3回）」開催要領

## 1 趣 旨

近年子どものこころの問題は、発達障害、虐待、いじめ、不登校、ひきこもりなど複雑化、多様化しています。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延による学校・家庭生活の大きな変化は子どもたちにさらなるストレスを与え、これらの問題をより重篤なものにしています。

このような背景から子どものこころの問題に対する医療ニーズが増大してますが、このような状況に対応するためには、医療だけでなく、教育、保健福祉といった幅広い分野の専門家による支援や各分野のネットワークの構築が重要です。

本県では、令和3年度に児童精神ケア体制検討ワーキングチームを設置し、子どものこころの問題の対応の方向性について検討しているところであり、その中でも人材育成やネットワークの重要性について議論されています。

このような中、子どもにかかわる教育・医療・保健福祉の関係者に対して、子どものこころの問題に関する理解、対応力の向上及び関係機関の連携を深めることを目的として、「にいがた子どものメンタルケア・ネットワーク」と称し、事例検討会を行うこととしました。

## 2 主 催

新潟県

## 3 共 催

新潟大学医学部

## 4 日 時

令和5年3月2日（木） 午後6時30分から午後8時まで

## 5 内 容

事例検討「学校で暴言暴力が頻発している小学生の事例」

グループワーク（Zoomのブレイクアウトルームを使用）

ミニレクチャー

※今回は、第2回のアンケート結果を踏まえ、想定事例を用いて、詳細な事例提示はせず、事例を通して、子どもにどんなことが起きているのか、周囲ができることは何かなど、基本的な見方・考え方などを皆さんと共有したいと思います。

※第2回アンケート結果等、開催状況は下記URLを参照ください。

県HP「にいがた子どものメンタルケア・ネットワーク 子どものメンタルケア事例検討会について」<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shougai-fukushi/niigata-kodomono-menntarukea-netowarku.html>

## 6 講 師

新潟大学医歯学総合病院精神科 講師 江川 純 先生

新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座 特任准教授 杉本 篤言 先生

## 7 対象者

教育関係者（教員・養護教諭・SSW・SC・学校医等）、医療従事者（小児科医・精神科医等）、保健・福祉関係者

## 8 開催方法

オンライン開催（使用ツール Zoom）

## 9 申込み方法

「新潟県電子申請システム」下記の URL もしくは QR コードからお申込みください。  
（今回は想定事例のため「守秘義務に関する誓約書」の提出はありません）

[https://s-kantan.jp/pref-niigata-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=4177](https://s-kantan.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=4177)



## 10 申込期限

令和5年2月24日（金）午後5時まで。

## 11 注意事項

- ・ グループワークを行いますので、1 端末を共有して複数名での視聴はご遠慮ください。
- ・ 事務局を除き、参加者には開始から終了まで、Zoom のカメラをオンとし、お顔を映してご参加ください。カメラ機能のない PC 等の端末での参加はご遠慮いただいておりますので、PC 等の端末や接続環境について事前にご確認ください。

## 12 その他

検討したい事例を受け付けています。